

質 問 書

2020年9月3日

「(案件名) パキスタン国ハイバル・パフトゥンハー州畜産開発を通じた生計向上プロジェクト」

(公示日:2020年8月19日/公示番号:20a00373)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P.5 第1 企画競争の手続き 7 プロポーザル等の提出(6)見積書 2)別見積 b)旅費(その他:戦争特約保険料)	戦争特約保険料について、Abbottabad 県、ハリプール県、マンセラ県も対象となるのか？	本プロジェクトの対象地域は、外務省海外安全情報レベル2に該当しますので、「戦争特約保険」の対象とはなりません。(参考:「コンサルタント等契約における経理処理ガイドライン」QCBS 方式対応版)2020年4月 p.10)
2	P.5 第1 企画競争の手続き 7 プロポーザル等の提出(6)見積書 5)その他留意事項 b)月額報酬単価	経理処理ガイドライン 2020年4月版の4.紛争影響国・地域における報酬単価の加算(P.4)の表3を見ると、「イスラマバードとアボタバードを除く」と記載があるが、本件の活動につき、報酬単価は加算となるのか？	対象地域に、マンセラ県、ハリプール県を含むため、報酬単価の加算対象になります。
3	P.18 第3 特記仕様書案 5 実施方針及び留意事項(1)安全対策)	アボタバード市内に在住されている JICA 安全対策アドバイザーからプロジェクトに対して、どの程度の支援が提供されるか。具体的には、事務所、宿舎、ルートのセキュリティチェックを行って頂けるか。	事務所予定のサイトについては、すでにアドバイザーから必要な工事内容について具体的な助言をいただいておりますが、現地業務の開始に際しては、必要に応じ宿舎やルートについても、アドバイザーによるセキュリティチェックを行う予定です。
4	P.18 第3 特記仕様書案 5 実施方針及び留意事項(1)安全対策)	アボタバード県畜産事務所の防護形態は、どの程度か。特に第二次防衛線、第三次防衛線の状況について分かる範囲でお示し頂きたい。	第三次防衛線の補強までアドバイザーにより助言を得ており、補強工事は先方政府及び JICA が実施します。現段階でその防衛線の詳細については、安全確保を考慮して公開できませんので、ご了承ください。(契約締結後に説明します。)
5	P.23 第2 プロポーザル作成に係る留	アボタバード市内に在住されている JICA 安全対策アドバイザーからプロジェクトに対して、どの程	上記、質問3の通りです。

	意事項 5. 実施方針及び留意事項 (13) 広報	度の支援が提供されるか。具体的には、事務所、宿舎、ルートのセキュリティチェックを行って頂けるか。	
6	P.23 第2 プロポーザル作成に係る留意事項 5. 実施方針及び留意事項 (13) 広報	プロジェクトで自らの HP を作れるのか？ 仮に作る事ができれば、プロジェクトの普及教材、あるいはビデオ教材などを発信できるので大きな効果を期待できる。	可能です。発信情報の内容については、当機構現地事務所、本部担当部に確認の上、公開いただく予定です。
7	P.24 第3 特記仕様書案、6.業務の内容、(3) 供与機材	今回のプロポーザルでは供与機材につき、何ら触れなくても問題ないという理解でよいか？	事業開始後に具体化する予定ですので、プロポーザルでは含めていただく必要はありません。
8	P.24 第3 特記仕様書案、6.業務の内容、(3) 供与機材 コンサルタントが現地活動中に使用する車両	レンタカーの使用が想定されている。シンド州畜産プロジェクトの日本人は常にランドクルーザー4WD を使う義務であった。KP 州の活動につき、ランドクルーザーとセダンの両車種の使用が可能なのか？ 特に安全対策の観点から、車種等の指定/推奨はあるか？	対象地域では、悪路が多いので、4WD 車両の使用が前提になります。ただ、イスラマバードとアボタバードの往復だけであれば、セダン車両の使用も可能です。治安等の安全対策の観点からの車種の指定はございません。
9	P.32 第4 業務実施上の条件 4.配布資料 詳細計画策定調査報告書 P.33 (4)対象地域における安全対策について3)	左記報告書には、「アボタバード市内には、専門家が滞在することができそうな借り上げ住宅の候補はいくつかある。…専門家が借り切って現地滞在中の拠点として使うことは可能であることを確認した。」とあるが、本件では短期滞在が基本となると想定されることから、貴機構が推奨するホテルリストに示された宿泊場所を利用するという考え方でよいか。	ご理解の通りです。

以上